

《担当者名》歯学部講師 / 磯部 太一

【概要】

医療倫理・生命倫理の概要を、講義形式だけではなく、映像資料などを参照しながら、ワークショップ、グループワーク、発表などを実施し能動的に学ぶ。実際の医療現場で問題となっている事例（患者・医療者関係、インフォームド・コンセントなど）だけではなく、医療と社会の関係を学際的な観点から幅広く取り扱う。このような授業内容を通じ、歯科衛生士・歯科医療に関する倫理教育を行う。

【学修目標】

1. 医療倫理・生命倫理の基本的な概要や問題事例を理解し身につける。
2. 医療と社会の関係について、歯科医療や自分の日常生活と関連付けながら学ぶ。
3. 歯科衛生士の義務と責任に関する基本的な知識や考え方を身につける。
4. グループワークと発表などの参加型の学習を通じて、議論するコミュニケーション能力やプレゼンテーション能力を養う。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	医療倫理・生命倫理の誕生と展開	医療倫理・生命倫理の概要と社会的・歴史の変遷について理解する。	磯部 太一
2	医療倫理・生命倫理の誕生と展開	医療倫理・生命倫理の概要と社会的・歴史の変遷について理解する。	磯部 太一
3	医の倫理	医の倫理について理解する。	磯部 太一
4	「患者・医療者」関係	患者と医療者関係について理解する。	磯部 太一
5	インフォームド・コンセント	インフォームド・コンセントの歴史と意義を理解する。	磯部 太一
6	歯科衛生士の倫理	歯科衛生士の責務や責任について考察する。	磯部 太一
7	期末レポート	レポートの書き方について理解する。	磯部 太一
8	医療の役割	社会における医療の役割について考察する。特に、社会における歯科衛生士の役割について議論する。	磯部 太一

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

期末レポート(100%)

【教科書】

全国歯科衛生士教育協議会監修（2014）「最新歯科衛生士教本歯科医療倫理第2版」医歯薬出版株式会社

【参考書】

玉井真理子・大谷いづみ編(2011)「はじめて出会う生命倫理」有斐閣

神里 彩子・武藤 香織 編(2015)『医学・生命科学の研究倫理ハンドブック』東京大学出版会

戸田山和久(2012)『新版 論文の教室 レポートから卒論まで』NHK出版

【学修の準備】

- ・ 授業の前後において、教科書の該当箇所を一読する（80分）。
- ・ 授業内で出した課題について、次回の授業の際までに行っておく（50分）。
- ・ 授業内で実施するグループワークと発表に積極的に参加する。一部、授業外で宿題として実施する（30分）。